

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 6月

令和5年6月1日の推計人口 1,270,033人  
世帯数 558,471世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、  
世帯数：558,230世帯

### 1 推計人口

令和5年6月1日現在の推計人口は、1,270,033人で、前月(1,270,963)に比べ930人の減少となった。

市部では、大村市(58)、対馬市(22)の2市で増加し、長崎市(△324)、佐世保市(△262)、諫早市(△86)、南島原市(△65)、雲仙市(△59)、平戸市(△45)、五島市(△33)、壱岐市(△25)、西海市(△21)、松浦市(△18)、島原市(△1)の11市で減少した。

郡部では、佐々町(27)の1町で増加し、川棚町(△20)、長与町(△16)、小値賀町(△15)、新上五島町(△13)、東彼杵町(△12)、時津町(△12)、波佐見町(△10)の7町で減少した。

自然動態は、出生数675人、死亡数1,593人で918人の減少、社会動態は、転入者数3,141人(県内転入を含む)、転出者3,153人(県内転出を含む)で、12人の減少となった。

### 2 世帯数

令和5年6月1日現在の世帯数は、558,471世帯で前月(558,368)に比べ103世帯の増加となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 4月

1人当たり現金給与総額 262,264円  
対前月比 2.4%増加  
対前年同月比 0.6%減少

### 1 賃金

4月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額は262,264円で、前月に比べ2.4%増加し、前年同月に比べ0.6%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は246,027円で、前月に比べ0.9%増加し、前年同月に比べ2.0%減少した。

特別給与額は16,237円で、前年同月に比べ、3,385円増加した。

### 2 労働時間

4月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は148.6時間で、前月に比べ0.2%減少し、前年同月に比べ2.8%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は137.0時間で前月に比べ0.0%、前年同月と比べ、2.6%減少した。

所定外労働時間数は11.6時間で、前月に比べ2.5%減少し、前年同月に比べ5.0%減少した。

### 3 雇用

4月の常用労働者数は209,867人で、前月に比べ、0.3%減少し、前年同月に比べ0.9%減少した。

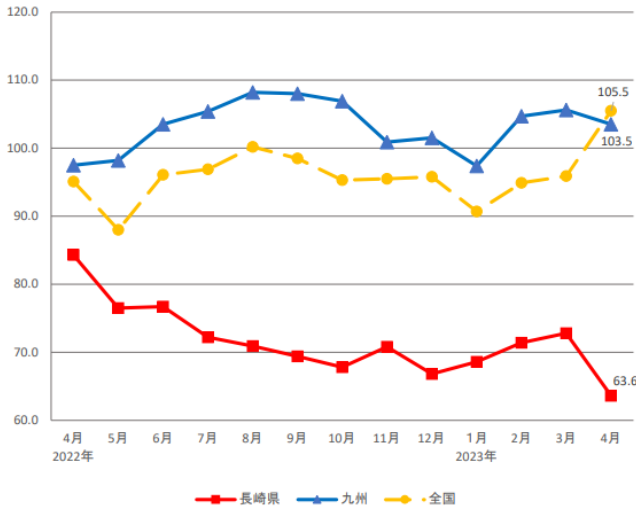
【鉦工業生産指数】…………… 4月

令和5年4月の鉦工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	63.6	△12.6	63.3	△23.7
九州	103.5	△1.7	98.6	5.7
全国	105.5	0.7	102.6	△0.7

鉦工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2023年4月の鉦工業生産指数は、季節調整済指数が63.6で対前月比は12.6%の減、原指数は63.3で対前年同月比は23.7%の減となった。

業種別にみると、輸送機械工業など5業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、繊維工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	6.5	修繕船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△29.6	蒸気タービンの部品・付属品
電子部品・デバイス工業	△29.5	半導体集積回路
繊維工業	△11.2	漁網・陸上網

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 5月

総合指数(R2=100)

105.1

対前月比(%)

+0.6

対前年同月比(%)

+3.2

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、105.1である。

前月比+0.6%で、主な上昇要因は「住居」の+1.6%、「食料」の+0.8%であり、主な下落要因は「光熱・水道」の△4.0%である。

前年同月比は、1月は+4.0%、2月は+3.1%、3月は+3.2%、4月は+3.1と推移した後、5月は+3.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は104.6で前月比+0.5%の上昇であり、前年同月比は+3.1%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

住居	1.6%
食料	0.8%
保健医療	1.8%
交通・通信	0.6%
家具・家事用品	1.5%
教養娯楽	0.7%
被服及び履物	0.1%

同水準の費目

教育	±0.0%
諸雑費	±0.0%

▽下落した費目

光熱・水道	△4.0%
-------	-------

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 5月

消費支出(一世帯当たり) 320,026円

前月比

25,737円増(8.7%増)

令和5年5月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は320,026円で、前月比8.7%の増、前年同月比は6.0%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は93.5%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。